

生き延びた絶滅危惧種

猪の瀬戸湿原にはレッドデータブックに掲載された貴重な植物の生育が知られ、「NPO猪の瀬戸湿原保全の会」もこれらの絶滅危惧種の保護を目的として湿原環境の保全に取り組んできました。

今年の調査で、絶滅が心配されていたいくつかの種を確認し、湿原の回復で個体数が増加しているものもあります。少しずつでも、活動の成果が表れてきたことはうれしい限りです。

() 内は絶滅危惧の度合いを示すカテゴリー



ホザキノミミカグサ (Ⅱ類)



ムラサキミミカグサ (ⅠB類)



シラヒゲソウ (Ⅱ類)



チョウセンスイラン (ⅠB類)

湿原内に投棄された不燃ゴミ

未確認の絶滅危惧種が見つかる一方で、違法投棄された古タイヤや産業廃棄物が見つっています。

これらは、景観を損なうだけでなく、貴重な生物の生育を阻害するものです。厳しく取り締まってほしいものです。

